

# 高い技術力とコミュニケーション力で 顧客に最高のソリューションを提供

アクティスジャパン株式会社 取締役副社長 菅井孝昇氏

エンジニア一人ひとりが  
成長できる環境をつくる

別のソフトウェア開発会社で働いていた菅井泰伸氏(代表取締役社長)が当時の同僚と独立し、1990年に設立したアクティス・ジャパン株式会社。現在は名古屋本社(愛知県名古屋市中区、名古屋支店含む)、東京本社(東京都港区西新橋、東京支店含む)の2本社と、大阪支店(大阪府大阪市中央区)、滋賀Lab.(シエアオフィス、滋賀県彦根市)の4拠点体制で事業を展開しています。

2003年には菅井社長の息子の菅井孝昇<sup>たかのり</sup>氏が同社に入社。2024年に取締役副社長兼営業統括本部本部長に昇格し、父を支える立場になった孝昇氏は「お客さまに最高のソリューションを提供するため、努力を重ねています」と話します。



「人はみな、得手不得手があるから  
適材適所で能力を開花させたい」

規模も業種も多岐にわたる顧客企業に向けて、必要とされるコンピュータソフトウェアを開発している。同社。4拠点合わせて200人弱のエンジニアを擁し、それぞれの担当分野で切磋琢磨しています。



社内の業務風景。社員一人ひとりの意見を大切に、やりがいをもって働ける社風をはぐくんでいる

ネットワークスペシャリスト、応用情報技術者、情報セキュリティマネジメント、ITパスポートなど、国家資格を含む多くの有資格者が在籍しており、「技術力こそが会社の競争力の源泉」と孝昇氏も力説。「最新の技術を追い求めることは、単なるトレンドの追従ではなく、あくまで顧客企業に最高のソリューションを提供するための手段。ビジネス環境が急激に変化するなかで、企業が成長するためには、最先端の技術を活用し、つねに進化し続けることが不可欠です」と話します。

またそうした高度な技術を保持し続けるため、エンジニア一人ひとりが成長できる環境づくりに努めているそうです。

## 独立系Sierとして 付度なしで最適解を提案

どんな技術を深掘りするか。「それは、経営陣の押し付けではなく、現場のエンジニアが最適と思う技術を選ぶのが大切。経営の仕事はその意思決定をサポートすることです」と孝昇氏。そんな技術に対する学習と挑戦を支援する企業風土を根付かせようと腐心しています。

その一方で、技術は「使う」ことが目的ではなく、「顧客企業の課題を解決する」ことがゴールですから、「エンジニアと経営陣がつねに対話をしながら、技術とビジネスのバランスをとることも大事です」。



愛知県のさわやか健康リレーマラソンに出場した社員たち。スポーツイベントへの参加も会社が後押しする

そんなエンジニアたちの技術の結晶ともいえるソフトウェアを独自開発している同社。システムエンジニアリングや企業への技術者派遣に加え、企業の課題解決プロセスを一括で請け負うシステムインテグレーター（Sier）としても活動。親会社や系列などの影響を一切受けない、独立系Sierとしての強みを存分に発揮しています。

「付度なしで、ご要望への最適な選択肢をつねに提供しています」と孝昇氏。開発のプロセスは、企業からの相談に始まり、要望のヒヤリング、提案書・概算見積書の提出と続きます。さらに要件定義・現状分析、確定定義書・確定見積書の提出、設計、プログラム制作・テスト、ハードウェアの手配・設置へ至る、長い道のりをクリアしていかねばなりません。ハードウェア設置後も教育や保守・運用が待っています。

そこで生きてくるのが、会社設立から35年に及ぶ豊富な経験。高い技術力や機動力。そして、人と向き合い、会話をし、相手の立場で考えるコミュニケーション力。それらの総合力が試されるのです。

## 多様な業種、多彩な要望に 臨機応変に応える開発力

同社の顧客を業種別に見ると、製造業（40%）、金融・保険業（18%）、情報通信業（13%）、卸売・小売業（8%）、公務（6%）など多彩。求められる案件も千差万別です。

「紙ベースの仕事をやめ、業務改善とペーパーレス化を図りたい」と要望した、みそ・しょうゆ卸売会社の受発注ウェブシステムは、10人のエンジニアが2年4か月の月日をかけて構築に成功。「業務効率化・入力ミス防止・コスト削減」を目的とした、精密測定器メーカーの勤怠管理システムは、5人のエンジニアが7か月をかけて、出社・退社の打刻から勤務状況の確認、月次集計、給与計算ソフトとの連携まで行える独自システムを開発しました。

エレベーター・エスカレーターメーカーの図面管理システム、ソフトウェア受託開発会社の収支管理システム、スポーツ用品店の店舗在庫更新システムなど、同社が一からかわって成功に導いた開発案件は枚挙にいとまがありません。



会社設立35周年を祝う東京本社のパーティー。自由で和気あいあいとした雰囲気が魅力

そんな同社の屋台骨を支える社員たちに対する、健康管理も万全です。40歳以上は人間ドックを、50歳以上はそれに加えて脳ドックを、女性は乳がん検診を、年に1回、会社負担で受けられるようにしています。

毎年、10人前後の新卒人材を受け入れている同社。「彼・彼女らが入社して良かったと思える企業にした」と日々、奮闘しています。

## Profile

### アクティス・ジャパン株式会社

1990年、代表取締役社長の菅井泰伸氏が名古屋市昭和区で、トータルオフィス提案企業の株式会社アメックスとして設立。1992年に現在の社名に変更。コンピュータソフトウェアの開発と労働者派遣が主な事業。菅井孝昇氏は2024年に取締役副社長就任。